

承認番号	2020-066
研究課題名	術前、術後の房室弁患者の冠動脈と房室弁輪に対する解剖学的検討
研究の意義・目的	房室弁（僧帽弁、三尖弁）に対する手術を施行する際の合併症として冠動脈の損傷があり、広域な急性心筋梗塞を引き起こす重篤な合併症の一つであります。われわれは手術前の検査として造影CTを行い、これを解析して手術前にそれぞれの患者さんの僧帽弁と冠動脈の距離を測定し、損傷リスクを評価したうえで手術に臨んでおります。また術後にも、心臓の機能が低下した場合や合併症発生を疑う場合などの、診療上必要な場合に限り造影CTを撮影し、手術後の心臓の状況を、手術の前後で比較検討し、冠動脈損傷などの術後合併症の有無の確認や、合併症等の問題点に対する早期治療介入に役立て、より安全な治療経過の確立を目指します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後から2028/12/31
研究対象者の範囲	2013年4月1日から2026年12月31日までで大阪市立大学医学部附属病院の心臓血管外科で僧帽弁や三尖弁に対する手術を受けられ、診療上の理由で術後心臓CTが必要であった患者様が対象です。
お願いする内容	■大阪公立大学医学部附属病院のみで研究いたします。
	① 患者様の基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、イニシャル、New York Heart Association分類 ② 冠動脈病変、心エコー所見、手術術式、手術前治療歴、既往歴、合併症、心電図所見、CT所見、入院記録（サマリ）、術後合併症 上記はいずれもカルテから情報を入手します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	施設名：大阪公立大学大学院医学研究科 補職名：心臓血管外科学教授 柴田利彦
この研究を行っている施設（共同研究機関）	研究責任者 施設名：大阪公立大学大学院医学研究科 補職名：心臓血管外科学教授 柴田利彦
代表施設のURL	
研究の成果を公表する方法	研究対象者を特定できないようにしたうえで ①学会発表や論文 ②本教室のホームページ( <a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocum-surgery/index.html">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocum-surgery/index.html</a> ) で公表する
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学 電話：06-6645-3980、FAX:06-6646-3071 担当者名：心臓血管外科 教授 柴田利彦